



かがやき

山形市立第一小学校
学校だより 第10号
R2.1.31 発行
校長：田所 昭裕
児童数 237名
(1月1日現在)

「自分から一歩前に！」2020年がスタート

新しい年2020年がスタートしました。子どもたちには、3月末の自分の姿をイメージしながら、「より 仲よく 元気よく かつこよく」なるために、「自分から一歩前に出て行動してみよう！」と話をしました。

自分から「おはようございます！」と元気にあいさつをすると、お互いに笑顔になれます。自分から発言したり仲間の意見に耳を傾けたりすることで、学び合う楽しさを実感することができます。また、自分から周りのごみを拾うことで、さわやかな気持ちになれます。2020年を将来の自分づくりのための「行動元年」にしていきましょう。一人一人の積極的な行動は、自分の中に閉じることなく、私たちの学校生活をもっともっと豊かで潤いのあるものにしていくはずです。

4月からは新学習指導要領が全面実施されます。学校での学びを子どもたちの生きる力につなげて参りましょう。保護者・地域の皆様方には、今年も本校教育へのご理解とご支援をお願いいたします。



さわやかなあいさつを体育館いっばいに…

新年度の「教育活動計画案」をお示しします

2月14日(金) 全体説明会

次年度の教育活動計画案が、ほぼまとまりました。3つのキーワード「思いやり」「自主性」「伝え合い」を受けて、奨学会の五役会や拡大評議員会の皆様にも意見をいただきながら検討を重ねました。

次年度の重点として位置付けたのは、

- (1) 仲間とともに主体的に暮らしをつくる
- (2) めりはりのある学校生活を送る

の2点で、保護者の皆様とは、同じ視点で子どもと向き合うための関係づくりを、これまで以上に丁寧に築いていきたいと考えました。

その結果、学校行事や奨学会事業、さらには日課表の見直しにも踏み込んだ内容となりました。この度の趣旨と変更点、保護者の皆様をお願いしたいことも含めて直接お伝えしたく、2月14日(金)の学級懇談会前に時間を取らせていただくことにしました。ご承知置きください。(資料は2月12日に配布予定です。)



拡大評議員会での話し合いの様子(1月14日)

今年度の取り組みの成果を！

かがやき研究発表会

1月29日（水）の午後から、本校の伝統的な取り組みである「かがやき研究発表会」が開催されました。3年生以上の子どもたちが、各自の課題解決のために見学や体験、インタビュー、実験などを通して調査・研究してきた結果を、発表し合いました。



6年間の学習を通して、自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析しながら、まとめ・表現する力を育てていくことは、総合的な学習の時間の目標に合致するもので、自分の生き方を考える上でも大切な学習です。

あいにくの空模様でしたが、多くの保護者の皆様に来校いただき、子どもたちの取り組みを参観いただきました。今後に向けて、感想や意見をお寄せいただければと思います。

図書室に「垂石 眞子さんコーナー」がオープン！

本校卒業生で双月町にお住まいの杉山 信治さんから、イラストレーターで児童文学作家でもある垂石 眞子（たるいし まこ）さんが絵を描かれた絵本をたくさん寄贈いただきました。垂石さんは杉山さんの親戚にあたるそうです。



「ぞくぞく村のおばけ」シリーズや「サンタさんからきた手紙」など、これまで図書室にあった本も加えて、新たに「垂石 眞子さんコーナー」を作りました。早速多くの子どもたちが、本を手にとって読んでいました。

来校の際に、ぜひお立ち寄りください

杉山様、この度は本当にありがとうございました。

「本の読み聞かせ」ありがとうございました

今年度も、母親委員会の皆様を中心に7回の読み聞かせを行っていただきました。学年毎に綴られた記録ファイルを見ると、読み手の先生お一人お一人の子どもたちへの思いが伝わってきます。今年度も、ありがとうございました。

仙台サンプラザホールに「山一小サウンド」を響かせてきました

1月25日（土）金管バンドクラブの皆さんが、東北バンドフェスティバルに出場し、東北各県から集まった音楽好きな仲間たちと、演奏を通して交流してきました。冬休みや放課後の練習を重ねた子どもたち、納得のいく演奏に大満足の様子でした。



支えていただいた保護者会の皆様方、ありがとうございました。

壮行式での演奏の様子（1月23日）